

白子川 源流通信

2018年12月 第55号
「白子川源流・水辺の会」会報紙

- 定例活動報告（ウキヤガラの刈り取り）
- ◆ 白子川源流は、大きな岐路に立っています !!
- 源流探歩⑫（石神井公園のかいぼり）
- ◆ 第18回白子川源流まつりの報告
- 聞き取り調査（昔の南大泉を語る）
- ◆ 井頭池の護岸をヘデラで緑化します



源流まつりの風景

2018年の源流まつりは好天に恵まれ、ゆったりとした時間が流れていました。大都会東京23区内であっても生物観察はとても面白いものです。源流まつりの当日、会場では様々な生物が観察されました。肉眼で見える限り、最も多い生物種はもちろんヒトでしたが、来場した子どもたち（だけでなくおとなたちも）は、とんでもないワンダーランドに迷いこんだと感じたことでしょう。

- ホトケドジョウのおなかを見る
（45度に傾けた反射鏡で）……
- ♪ 泳ぐ姿を真下から見ると紫色だよ
- 20倍に拡大した世界
（双眼実体顕微鏡で）……
- ♪ シナヌマエビの眼は複眼だよ
- ヒメガマの穂綿を触ってみる（童謡に登場する植物なので、子どもたちを連れて参加した高齢者の皆さんから特に好評でした）……
- ♪ この穂綿は何のため？ 滑り台の上からタネを遠くまで吹き飛ばそう……



写真左：ミズヒマワリとヒメアカタテハ
写真右：双眼実体顕微鏡でシナヌマエビの複眼を観察

定例活動報告

8月 9月 10月 11月

ウキヤガラの刈り取り



[水質調査]

測定地点	月日	8/26	9/23	10/28	11/25
	天気				
項目	気温 °C	36	28.8		14
	源流部	水温 °C	21.6	18.7	
水深 cm		7	15		5
COD mg/l		8	4	源	4
pH		6.4	6.4	流	6.8
井頭橋	水温 °C	24.1	19.1	ま	18.2
	水深 cm	24	35	つ	12
	COD mg/l	6	4	り	2
	pH	6.8	6.4	開	7.0
井頭 中間 火の橋の	水温 °C	21.4	19.1	催	16.6
	水深 cm	28	30		28
	COD mg/l	4	4		0
	pH	6.5	6.4		6.3

●CODとは、水の汚れ(有機物)を示す指標で、数値が大きいほど汚れている。当会では低濃度用簡易キッドで指標を判断している。2は最低値できれいな水。4~6は少し汚れている。8以上は汚れている。

●pHとは、酸性とアルカリ性を示す指数で、pH7が中性。7より大きいとアルカリ性、小さいと酸性。

[多すぎる栄養は草刈りで対策を]

現在、井頭池の土壌は栄養過多の状態(汚れた状態)です。そのためにアオミドロが大発生して、それが腐って、さらに土壌を汚しています。

この井頭池には、水草のウキヤガラが繁茂しています。水草は土壌の栄養を吸収してくれますが、枯れてしまえば、吸収した栄養が再び川の土壌に戻ってしまいます。しかも、春から夏の間は光合成で作り出した栄養も追加され、ますます多くなってしまいます。

増えつづける栄養を抑えるには、ウキヤガラを刈り取って川の外に出すことです。そうすれば、多すぎる栄養分を減らすことができそうです。

(岡崎一成)



夏のウキヤガラ

【そこで、ウキヤガラを刈ることに】

当会で草刈機を買って自力で刈り取り、定例活動の日に総動員して袋に詰めることにしました（一応、区に打診したが、急なことと予算不足でダメでした）。



機械の購入と
セッティング

草刈機に詳しい会員の八本さんが、機種の設定、替え刃と混合ガソリンの調達、操作マニュアルの作成、試運転まで、すべてを準備。

草刈り

11月24日（土）、定例活動日前日の9時半に草刈りを開始。慣れた八本さんと不慣れな菅沢で交代しながら悪戦苦闘。それでも、3時間でほぼ刈り取りました。

草を集める

翌日の定例活動で、会員17名にTOTO（株）グループからの参加者7名、計24名で1時半から4時半まで、広大な井頭池に刈り取られた水草をビニール袋に詰めて、集積場に運びました。お疲れさまでした。



（菅沢 博）

活動記録

9/16(日) WE LOVE 白子川の会
17(月) 竹炭づくり
23(日) 定例活動
30(日) 源流まつり企画会議③

10/20(土) 源流まつり企画会議④
21(日) WE LOVE 白子川の会
26(金) TOTO 助成金中間報告書提出
28(日) 第18回白子川源流まつり

11/ 3(土) 稲荷山図書館の講座で白子川を紹介
11(日) 「めい ゆうこどもまつり」 出展

11/16(金) “源流の森” 研究会
(源流まつり反省会 他)

18(日) am WE LOVE 白子川の会
pm 大泉図書館の講座で白子川を紹介

24(土) ウキヤガラ草刈り 2-1

25(日) 定例活動(ウキヤガラ草刈り 2-2)

12/1-15 J.com 「ねりまほっとライン」で白子川を紹介

8(土) 聞き取り調査 (高橋豊治さん 他)

11(火) まちセンの景観講座で白子川を紹介

16(日) WE LOVE 白子川の会

23(日) 定例活動

白子川源流は、大きな岐路に立っています !!

練馬区「第2次みどりの風吹くまちビジョン(素案)」の公表をうけて

練馬区が12月11日に発表した「第2次みどりの風吹くまちビジョン」(以下、「第2次ビジョン」)には、**[大泉井頭公園は「水辺空間の創出」をテーマに、5年以内に公園の拡張整備に着手します]**と、新たな動きが書かれています。

会員のみなさん、白子川を応援してくださっている地域のみなさま !!

源流は今、とても大きな岐路に立っています。

お願いです !! 練馬区へ1/18までに、

疑問・意見・提案を出しましょう(当該部分や素案全体に対して)。

詳しくは、区のホームページまたは12/11号の区報をご覧ください。

練馬区企画課 tel 5984-2448 fax 3993-1195 メール kikaku@city.nerima.tokyo.jp

私たちの 危惧

第2次ビジョンで、**[5年以内に「水辺空間の創出」をテーマに、大泉井頭公園を拡張整備に着手する]**と初めて発表しました。一体これはどういうことなのかわかりませんが、白子川の源流に何か大きな動きが出てくることは間違いないでしょう。

この春に国が決定した30年以内の調節池計画(当会推測では井頭池の東側に建設するのではないかと)との関係は? そして、都の大泉井頭公園整備計画との関係はどうなるのか? まったくわかりません。

水辺空間の創出をテーマに「着手する」とは何をどうするのでしょか?

アクションプランの白子川に関する部分

抜粋

戦略計画 14 みどりに恵まれた環境を未来へつなぐ

●5年後(平成35年度末)の目標

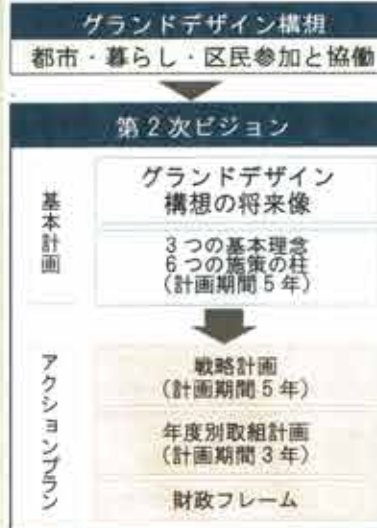
練馬のみどりに満足している区民の割合80%を目指し、みどりのネットワーク形成と区民とともにみどりを守り育てる仕組みづくりを推進

●5か年(平成31~35年度)の取組

みどりを守り・増やす

区内には、石神井公園、大泉中央公園、光が丘公園、城北中央公園などの大規模公園のほか、みどりの拠点となる公園や樹林地が点在しています。みどりの拠点づくりを進める長期プロジェクトとして、稲荷山公園は「武蔵野の面影」、大泉井頭公園は「水辺空間の創出」をテーマに、公園の拡張整備に着手します。これらの拠点をみどり豊かな幹線道路や河川がつなぐ、みどりのネットワーク形成を進めます。

第2次ビジョン体系図



(「ねりま区報」を参考に作成)

(菅沢 博)

源

流

探

歩



石神井公園

水辺観察園のかいぼり

11月17日(土)から、石神井公園水辺観察園で池の水を抜く“かいぼり”が始まりました。水を抜いたあと、市民から募集したかいぼりボランティアによって、溜まりに集まった生き物を取りました。

生き物は、クチボソ、ヨシノボリ、テナガエビ、スジエビ、ブラックバス、ブルーギル、アメリカザリガニなどです。

⑫

なぜ、“かいぼり”をするの？

岡崎一成

池は、落葉などがたまって、泥や水の栄養分が多くなりすぎて汚れてしまいました。池の汚れた水は抜いて、泥は空気にふれることできれいになります。また、池に昔からすんでいる在来種は外来種に食べられたり、すみかをうばわれたりして数を減らしています。そのため、外来種のブラックバス、ブルーギル、アメリカザリガニなどを駆除しました。池の環境を守るために、“かいぼり”は行われました。

前ページのつづき

参考

源流に係わるこれまでの施策

- ①平成21年東京都「白子川流域豪雨対策計画」策定 = 保谷地域の雨水を白子川源流に流す計画(もともと石神井川に流していた雨水排水を白子川に変える計画)
- ②平成23年西東京市「西東京市公共下水道プラン」策定 = 保谷地域の雨水を白子川源流に流す計画(石神井川に流していた雨水排水を白子川に変更)
- ③平成23年東京都・練馬区「都市計画公園・緑地整備方針」改定 = 井頭池周辺の土地・農地を都市計画公園優先整備区域に指定
- ④平成25年東京都「白子川河川整備事業調査計画書」策定 = 75mm対応の整備計画、源流に大型調節池計画
- ⑤平成26年東京都「東京都豪雨対策基本方針」改定 = 豪雨対策50mmから75mmに変更
- ⑥平成28年東京都・練馬区「都市計画道路整備方針(第4次事業化計画)」策定 = 源流を横切る都市計画道路232号線が優先整備路線に指定(一部区間)
- ⑦平成30年4月東京都「白子川河川整備計画」改定 = 源流に25万4000㎡の大型調節池の建設計画を国土交通大臣が認可
- ⑧平成30年12月練馬区「第2次ビジョン(素案)」で「大泉井頭公園は「水辺空間の創出」をテーマに、公園の拡張整備に着手する」と発表
- ⑨平成31年3月練馬区「第2次ビジョン」策定予定 = 大泉井頭公園計画と調節池計画がどう動くか?

第18回 白子川源流まつり

ステージ



写真報告 大泉井頭公園(2018.10.28)

秋晴れの午後、屋台などは出ませんが、純粋に白子川とその周りの自然を守る活動を知ってもらうための「源流まつり」に、たくさんの老若男女、地域の人たちが集い賑わいました。



大泉南小学校 4年生の「白子川調べ学習」発表



展示コーナーで、カワセミ写真の特集



どんぐりを育てよう♡



スタンプラリーで各コーナーを回るとプレゼントがもらえた!



白子川の生きもの展示コーナー
ホトケドジョウや、ザリガニ、カエルなどを観察してスケッチ!



人気の白子川グッズを販売♪



ザリガニをスケッチ!

子どもたちは、昔のおもちゃや自然の草木で可愛い飾り物を手作りしたり、また縄文土器の文様を紙に写し取ったり…と普段できない貴重な体験を楽しみました。



雨水浸透の模型で親子が学習



雨が地下に浸透する実験



TOTO コーナーでは、水周りや節水クイズが出ました。

昔の南大泉を語る

聞き取り

調査

①

南大泉で生まれ育った豊治さんと野瀬さん。「今、私たちがしゃべらないと、誰がしゃべる？」との思いから、小さい頃の記憶を常にメモしています。

今回はその一端を、2時間にわたって話してくれました。

(12月8日、豊治さんのビニールハウスで)

日照りがつづく
村で、雨乞い
をしたもんだ!



豊治さん



野瀬さん

白子川には
カマが
あったなあ

名前の由来

この辺りの人たちは「大川」と名づけたかったけど、和光市の白子の人たちが先に「白子川」と届けたから、そうなっちゃったらしい。

へびごはん

元気がないときは、へびの皮をはいで米といっしょに炊いた。でも、アオダイシヨウは食べなかったナ～。ザリガニはニワトリにあげてたよ。

タメ(溜)のこと

弁天様がまつられていた井頭池は「井頭溜」といわれてた。その辺りはうっそうとした深い森で「あそこへは行くな。人さらいにグルグル巻きにされて、大八車にのせられて、浅草で売られちゃうよ」と言われたもんだ。

白子川のカマ

カマ(オカマ)があちこちにあって湧水が豊富に湧き出ていた。その水量はまるで釜の中で湯が煮えたぎるようだったから、カマと言ってた。

(「八の釜」の名もそこからきたようだ)

白子川にいた生き物

ドジョウ、タナゴ、ハヤ、フナ、ゲバチ(ギバチのことか?)、イモリ、メダカ、ザリガニ、カワニナ、ホタル、ヤツメウナギ、ウナギ、カメ など

※アマコ(アマッコ)またはアマコドジョウはホトケドジョウのことと、ほぼ判明した。

お二人の記憶では、アユやサケはいなかったそうだ。

- おっころぶ
↓ 転ぶ
- せーふる
↓ 風呂
- おつけ
↓ みそ汁
- やま
↓ 雑木林
- つくて
↓ たい肥
- いたべっこ
↓ 板
- かんまーす
↓ かき混ぜる
- うなう
↓ 人力で耕す
- あてつぽ
↓ 掘った穴
- うるぬく
↓ 間引く
- ぼーち
↓ 棒でたたいて脱穀する

方言でも
盛り上がりました

(菅沢 博)

井頭池の護岸を ヘデラで緑化します

井頭池の景観づくりと水辺環境を良くするために、練馬区と交渉を重ねた結果、当会で護岸にヘデラを植えることになりました。

ヘデラはつる性の植物で、東側護岸際に植えると数年後には河川側に垂れ下がるようになります。



● 1月27日(日) 2時から植えます。地域の方もご参加下さい。

これからの 活動予定

- 1/19(土) みずとみどり研究会の
佐川氏を囲んで勉強会(17:30~)
- 20(日) WE LOVE 白子川の会
- 27(日) 定例活動
- 2/17(日) WE (LOVE 白子川の会
- 24(日) 定例活動
- 3/17(日) WE LOVE 白子川の会
- 24(日) 定例活動
- 4/21(日) WE LOVE 白子川の会
- 23(日) 定例活動

※運営会議は定例活動の前日です

※源流の森研究会は毎月第3金曜です

トライ④

石を積んで、せせらぎ作り



源流から3キロほど下流の白子川(東映橋付近)で、石を積み上げて流れを堰き止めてみたら、せせらぎが出来た。ザーと聞こえて気持ちがいい“小さな自然”。



J:COM「ねりまほっとライン」で白子川源流が紹介されました。

インターネット動画でご覧になれます。「ねりまほっとライン 白子川」で検索。

定例活動 毎月第4日曜 午後1:30~

編集後記

どなたでも 川にはいれます!

▼2年前に泉新小学校で生まれた「WE LOVE 白子川の会」がしっかりと根をはやしてきた。やってくる人が「常連さん」になってきて、川掃除や川遊びをたのしんでいる。当会の初期もそうだったなあ。(ひ)
▼ウキヤガラを刈り取ってみると、源流部はまた一段と陸地が多くなっていた。水みちは細くなった。西武線までの流れもずいぶんと浅くなった。湧き水が少ないのだ。これこそが問題なのに。(あ)
▼源流池の木道。うちの犬はなぜかこの場所に行きたがる。そして、じっと水面をながめる。何が面白いのか。私は傍で空を仰ぐ。一番星と街灯にゆれる人影。静かな時間の共有…。(さ)
▼表紙は毎月代わるリレー方式。テーマも形式も決まっていなくて原稿が楽しみだが、レイアウトに苦慮の連続。今号の小川さんは「源流まつりは子どもたちのワンダーランド!」と捉えられた。素敵!(け)

発行 白子川源流・水辺の会
編集 東谷 篤/東谷貞子/菅沢恵子
題字 宮本沙海
発行部数 1,200部
代表 菅沢 博 03-3923-8430
練馬区南大泉 1-10-5
suga-lohas@jcom.home.ne.jp
http://www.geocities.jp/sirako_river/
※この会報は年3回発行しています

当会は TOTO グループ「TOTO 水環境基金」の助成を受けて活動しています。